

Windows NT 4.0 について (4)

(Windows NT 4.0のセキュリティについて)

パーソナルユースにはなじみの少なかったセキュリティですが、ビジネスユースに向くとされるWindows NTは重要な用途に使われるものですから、しかるべきセキュリティ(アクセスコントロール(権限))の機能を備えています。

Win95に機密性の高いデータを入れておけば、ログオン画面でユーザ名とパスワードの入力を求められるかもしれませんが、適当なものを入れてしまえばログオンは簡単です。確かに面倒はなく、担当者が休んでもそのパソコンは使う事ができてしまいます。確かに“パソコン”なのです。でもこれでは個人データ、例えば人事情報などを入れて置く事はできません。

それに対してWindows NTには“権限”という考え方が使われています。つまり、フォルダやファイルの場合、アクセスする権利(アクセス権)を設定して、その権利を持ったユーザでなければアクセスできなくなっています。アクセス権には次のようなものがあります。「アクセス権なし」、「一覧」、「読み取り」、「追加」、「追加と読み取り」、「変更」、「フルコントロール」、「特殊なアクセス権」。これらはファイルのアクセス権ですが、ファイルシステムがNTFSの場合のみ設定が可能です。また、NTには「所有者」という概念があって、所有者にはファイルやフォルダに対するすべての権限を持っています。

NTはユーザ登録する事によってはじめて使用する事ができるようになります。また、登録ユーザはグループに所属させる事によってグループ単位での権利を設定します。グループでもっとも権限を持っているのが「Administrators」で、管理者のグループです。このグループに属するユーザが新しいユーザを登録する事ができます。持っている権利によっていろいろなグループ分けを行う事ができます。例えば、データを入力するだけのグループであるとか、一部のファイルを見る事だけができるグループなどです。権利としては、「システムのシャットダウン」などもPCを操作するための権利が与えられます。つまり、権限が無ければNTを終了させる事もできません。

このようにNTはいろいろ複雑に権利の設定を行う事ができますが、それだけ難しく、熟練が必要で、下手に設定すると奇妙な権利を持つグループを作ったり、必要な権利を持たないグループを作ったりしてしまう可能性があります。使い方によっては非常に有効です。この点で、NTのパソコンは“パソコン”ではないといえるのかもしれませんが。これまでのWindowsには無い機能のため、初めは戸惑うかもしれませんが、良く考えてみれば重要なデータを取り扱うのであれば必要な機能なのです。今後は慣れていく必要があるのかもしれませんが。適切なアクセス権を設定されたパソコンは快適で使いやすいものですから、業務で使うOSとしてのWindows NTを、必要な時に活用していく必要が出てくるように考えます。

(情報誌トピックス)

○ 経 済 コ ン ピ ュ ー タ 3月17日号

特集 情報システムの“携帯“が始まる

→ やっとモバイルコンピューティングが始動しはじめた。営業の現場の情報化で、情報の供給から情報の収集。現場の受け入れやすいシンプルなシステムで企業情報インフラへの取り込みを図る。しかし、AMITYは出ていない。

特集 システム部を変えた男たち

→ 目立たないシステム部から目立つシステム部へとシステム部再建の現状

トレンド WWWでの電子商取引、過大な期待は禁物

→ アメリカで見え始めた厳しい現実

基礎講座 SMPの基本概念とパソコンサーバの技術動向

→ 情報システム開発センター小林KS

USA シリコンバレーの中国人と日本人

→ 先行し根づいてる中国人と、商機あるところを後追いしている日本人

○ 経 済 エ レ ク トロ ニ ッ ク ス 3月10日号

特集 デジタル衛星放送が「雑誌型」事業を可能に

→ PerfectTVに代表されるデジタル衛星放送は、映像だけで400チャンネルと多チャンネルのテレビ放送を可能にするが、1日24時間放送しても年間6000万円と安価にできるため、既存の放送が「新聞型」とすると、専門的な「雑誌型」の事業が可能となった。

特集 56kビット/秒のモデム登場、全デジタル電送の架け橋に

→ 33.4kビット/秒が限界とされていたモデムの伝送速度が、中継網がデジタル化されている事を前提に56kの高速モデムが登場する

データ 国内のパソコン市場が一服、デスクトップ型の伸びが鈍化

→ 家庭向けの伸びが鈍化し、企業向けは安定成長している

○ 経 済 ソ フ ト 3月10日号

特集 97年型オフィスソフトのすべて

→ オフィスソフトとして、Office97とスーパーオフィス97、WordPerfectSuite7Jの実力を検証
これまでのソフト連携から、ユーザ同志が効率よく協力できるようなユーザ連携へ

特集 社内LANでWWWサーフィン

個人WWWサーバ立ち上げのすすめ

→ 社内LANにおけるWWWサーバの作り方と運用の仕方

ニュース 続々登場する新型メモリ

→ 普及が進むSDRAMと次世代担うRDRAM

「極低周波」が免疫機能弱める? - 労働省が検証開始

→ 電磁波がガン免疫の低下を引き起こす可能性がある

注目の新ユーザインターフェース「Outlook97」 - Windowsは脇役に

○ **経 済 資 訊** 3 月号

特集 J a v a 活用のビジョン

→インターネットの標準言語「J a v a」は素質はいいが細かな機能で不備がある「未完の大器」。Javaに必要なのは「ビジョン」、何をするのか

サーベイ テープ装置とNT用バックアップツール

記憶容量や速度、価格をにらみ用途に合ったテープ規格を選ぶ

ワード ディレクトリサービス

分散システム上の資源をネットワークの住所録で有効に管理

ブック J a v a コンテンツを自動更新する新たなソフト配信手段が登場

米 M a r i m b a の C a s t a n e t が日本国内で出荷へ

○ **経 済 資 訊** 3 月号

特集 規制緩和でここまでできる！

→マルチメディアビジネスの変化が速く、各官庁の対応が十分にできていないために事実上規制緩和状態となっている。電子認証技術と認証制度の確立が今後のビジネスの大前提となっている。

トレンド 検証！インターネット広告の実力

バナーのクリック率は3%、明確にみえぬ効果と料金

トライ ピピン・アットマーク

家庭用端末の道のり遠く、法人需要に望みつなぐ

○ **E A N T I M E** 4 月号

特集 デスクトップ管理を問い直す

→デスクトップ管理ソフトは、ソフトウェア管理からディスク管理、リモート管理までが可能だが、今ひとつ普及していない。導入のメリットを検討

インテグレーション →イントラネット時代のコンピュータセキュリティとは

→タブレットによる新たな認証法「サイバーサイン」を中心にコンピュータセキュリティを検証

○ **P C W A V E** 4 月号

特集 普及期を迎えた「液晶ディスプレイ」

→12インチクラスが20万円と普及期に入ってきたような液晶ディスプレイ。その実力と動向、技術の特集

特集 今時の「ハイエンドPC」解体新書

→個人向けのハイエンドマシンとは

○ **D O S / V m a g a z i n e** 3 月 1 5 日号

特集 メモリというハートウェア'97

→メモリの基礎からメモ리카ードの見方、チューニングまで

特集 最新ノートPC大図鑑

→MMX対応から鞆まで

テストラボ 今が旬！ターミナルアダプタを比較する